



辞書を編む

著者名	飯間 浩明	発行年	2013年
出版社名	光文社新書	ページ数	268ページ
値段	800円	ISBN	978-4334037383
コメント	『舟を編む』が気に入ったら、リアルな辞書編集実録をどうぞ。 動物園まで行って練り上げたカピバラの語釈とか(155ページ)、愛について、しおんさんの小説を元にした大議論とか(188ページ)、とっても楽しそうに語られる苦労話にうきうき。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	コメント			
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間

[TOP](#) ^

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板



ビブリア古書堂の事件手帖 1-6

著者名	三上 延	発行年	2011年
出版社名	メディアワークス文庫	ページ数	307ページ
値段	590円	ISBN	978-4048704694
コメント	本を好きになろう！ という、この授業のコンセプトにふさわしい古書ミステリー。 大ヒットでテレビドラマ化もされてますね。小さなストーリーの連続(第4巻だけは長編)なので、つまみ読み好適品。 内気で優しいのに頭脳明晰な葉子さんに、挑戦してみませんか。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
nurunurubon ☆☆☆☆		6巻まで	307P (307分)	今まで読んできた本が出てくると嬉しいし、読んだことない本なら興味がわく、そんなお話です。しかし私から言わせてもらおうと「葉子さんがかわいい！それだけで十分だ！」と思います。ってことで普通にお勧めです。	時計仕掛けのオレンジのお話	2016/08/07 19:07:42
たかし ☆☆☆☆		1巻 5-87ページ	83P (40分)	「古書にまつわる謎を解き明かすビブリアミステリー」と帯に書いてある通り、章タイトルが実在する本のタイトルになっていて、その本の内容も絡めながら展開していくミステリー小説。 主人公が本を読めない体質なおかげで、章タイトルになっている本の内容を知らなくても主人公と同じ目線で楽しむ事が出来て良い。本の内容を知っている場合も、話の流れを先に推理する楽しみを味わえると思う。		2016/07/18 00:13:02
44 ☆☆☆☆		1巻	307P (150分)	本が好きな人もあまり好きでない人も楽しめる作品。この本をきっかけに本を好きになる人が増えてもおかしくないと思う。 とにかく表紙が美しい。表紙に一目ぼれしてしまった。 内容は葉子さんと大輔の関係が絶妙で面白いです。ドラマの方は見てないので、あんまり好評ではなかったけど見てみようかな。	217-304	2016/07/15 11:20:36
こたろう ☆☆☆☆		1-307ページ	307P (420分)	四話目が一番面白かったです。大庭との対決は必見ですね。 ミステリー小説ということもあり、会話がちりばめられているので、文字は多いですが比較的読みやすい文庫本だと思います。 P.S. 葉子さんの実写版の配役に不満を抱いています。おとなしい、キレイ系な雰囲気のはずなのに…	第四話(218-295ページ)	2016/07/12 20:33:17
ニセコ ☆☆☆☆		98-189	99P (40分)	章タイトルの「ブラック・ジャック」につられて読みましたが、謎解きの過程に思わず引き込まれました。テンポが良かったのが大変小気味良いです。	第二章	2016/07/11 12:34:08

John Doe ☆☆☆	最初はほのぼの古書物語だと勝手に思っていたのですが、読んでみると全体的に地味で、結構暗い話もあります。ですので、楽しい！といった気持ちになるわけではありませんが、それこそがこのシリーズの長所であり、主人公とヒロインのもどかしい関係性とも相まって、独特の良い雰囲気を醸し出す要因となっているように思います。落ち着いた雰囲気に浸りたいときに読むことをおすすめします。実在する本を題材にしているので、たまに内容を知っている本が出てくると嬉しくなります。 基本的には1話完結形式といえど、話がつながっている部分も多々あるので最初から読むことをおすすめします。1話目を読めば雰囲気はわかると思うので、そこを立ち読みポイントといたしました。			
	1-5巻	307P (180分)	5-87ページ	2016/07/10 07:56:27

hacibee ☆☆☆☆	読んでて眠くなりそうとなっつきづらい見た目に反して最初の山さえ越えればどんどんひきこまれていきます。最低で1話4話エピソードと読んでもある程度の伏線は回収できて楽しめると思います。でもできれば2話の志田の話も是非読んであげてほしい。長らくライトノベルから離れていた私でしたが大いに楽しめました。二巻以降も読みたくなりました			
	1-307	307P (90分)	以外とかわいい志田	2016/07/02 14:36:32

うつわ ☆☆☆	古書とそれにまつわる人のお話 文学少女シリーズを思い出しました			
	1巻	307P (140分)	1-87	2016/06/19 21:36:15

ぐみ ☆☆☆	様々な古書にまつわる事件を葉子さんが推理していく物語。各章で取り上げられている古書の内容を交えて物語が展開していく点が魅力的でした。			
	1巻	307P (150分)	11-87ページ	2016/06/18 04:46:44

elixir ☆☆☆☆	ビブリア古書堂の店主、葉子さんとともに本にまつわる事件を解決していくお話。毎回テーマとなっている本がうまく絡んできます。 こちらの推理を毎度いい意味で裏切ってくれる、そんな本です。			
	1-6巻	307P (180分)	1巻	2016/06/17 14:00:59

ゆでだこ ☆☆☆☆	本の内容と関連づいた事件を解決していくミステリー。 ただ別に出てくる本の内容を知らなくても登場人物がちゃんと解説してくれるので楽しめた。 タイトルにもあるビブリア古書堂の店主の葉子さんがかわいかったと思います。			
	1巻	304P (150分)	1話(1巻1-87)	2016/06/15 22:50:58



下町ロケット

著者名	池井戸 潤	発行年	2013年
出版社名	小学館文庫	ページ数	496ページ
値段	756円	ISBN	978-4094088960
コメント	爽快に大空へ。 大田区が舞台のものづくり物語。企業の競争や特許のこともちよつと分かるし、見知った地名がちらほらあるのも親しみやすいし、人生観も深くて、さわやかに読み終われる直木賞受賞作。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
縫サ縫セ縫ヨ 繻峨 ☆☆☆	あらすじはドラマでみたことがありました。 文庫で流し読んでみたところ、映像ではなく文字からだけでも人物達が生き生きと動いている様子が感じ取られました。			
	1-14ページ、471-496	40P (20分)		2016/08/10 13:09:11
ハルキ ☆☆☆☆	技術者たち・中小企業の逆転劇は、読んでいて爽快です。 大手企業とは何か？ということを考えさせられる本ですね。 また、東工大に隣接する大田区を舞台にしているため(ドラマ版のロケ地としても使われたとか)、モノづくりの文化がある街に住んでいることを再認識できます。			
	1-496	496P (200分)		2016/07/28 18:10:20
jeje ☆☆☆☆	ドラマが話題になったので読みました。 数々の困難に立ち向かっていく佃製作所を応援してしまう、読んでいて熱くなる小説でした。 最後は半沢直樹のようにスカッとなります。			
	全部	496P (350分)		2016/07/25 17:11:42
barista ☆☆☆☆ ☆	佃製作所の強みとなる経営資源を、紆余曲折ながらも手放さずに、保持する重要性をビジネスの観点で学ぶことができたように感じる。劣勢でありながらも困難に立ち向かい、それを打開したときのスカッとした感覚が味わえる1冊でもあった。			
	1-496	496P (150分)	135,172,208,392,407	2016/07/18 00:05:58
ねー ☆☆☆☆ ☆	先日ドラマ化した池井戸潤さんの作品です。 ドラマを見ていても、十分楽しめました。特に、帝国重工によるテストで社員一丸となって技術力で立ち向かうところには、大企業にはない力強さを感じられます。			
	1-496	496P (240分)	325-377	2016/06/28 14:10:47
うつわ ☆☆☆	中小企業の人間が自分たちの技術にプライドをもって大企業に臆することなく挑戦していく姿はカッコいいと思った。 だが中盤、最もな反対意見が多数出てるのに自分の方針をゴリ押し姿勢はどうなんだと思った。 見方によっては従業員の生活を守る経営者の義務を放棄しているように見えた。			

1-496	496P (200分)	395-400	2016/06/25 10:36:21
-------	-------------	---------	---------------------

こたろう ☆☆☆☆ ☆	「半沢直樹」で有名な池井戸さんの作品です。ロケットエンジンの研究者が親の町工場を継ぐところから物語が始まります。 機械系の方はもちろん、経営工学系の方々にも読める、技術者のロマンが詰まった作品だと思います。 特に226ページの佃の「知財ビジネスで儲けるのはたしかに簡単だけでも、本来それはウチの仕事じゃない。ウチの特許は、あくまで自分たちの製品に活かすために開発してきたはずだろう。いったん楽なほうへ行っちゃったら、ばかばかしくてモノ作りなんかやってられなくなっちゃう」というセリフはカッコいいです。 後半では、第4回の講義の「5人を救うために1人を犠牲にするか」に近い中身の論争が、佃と椎名の間で繰り広げられます。ここもおススメです。			
	1-496ページ	496P (420分)	226ページ	2016/06/20 20:00:43

[TOPへ](#)



下町ロケット2 ガウディ計画

著者名	池井戸 潤	発行年	2015年
出版社名	小学館	ページ数	371ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4093864299
コメント	宇宙開発のつぎは医療の最前線へ。ひたすらに着書のかなたを旨とした前作よりも、「病気の子どもを救う」という要素が加わるぶん、情緒的になって、人生や仕事の意味を問い直すシーンもしばしば。 善玉悪玉がはっきりしていて善が必ず勝つ池井戸ワールドの疾走感と安心感は保証済み。テレビドラマの進行とともに楽しんでみてください。		

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ねー ☆☆☆☆	ドラマを知っていたのですが、所々異なるので改めて楽しむことができました。改めて中小が大きな組織に打ち勝っている姿が本当に面白いと思いました。			
	1-371	371P (240分)		2016/08/13 21:11:54
ぶらっど ☆☆☆☆	ドラマを観て、一通りの内容を知っていたのですが、もう一度気分良くなりたくて、最後のシーンだけ読みました。確かに、劣勢を跳ね返して、すべてがうまくいくことでスカッとするのですが、やはりすべて読むことでより気分よく読み終わることができるのではないかと思います。			
	304-371	68P (60分)	304-371	2016/06/30 12:43:18
うつわ ☆☆☆☆	自分の地位や利益のためだけに働く人間と患者や自身の技術のプライドのために働く人間の対比がうまく出来ていて印象的だった。 個人的には1作目よりもこっちの方が好き。			
	1-371	371P (180分)	336-340	2016/06/25 15:10:48

[TOPへ](#)



ロスジェネの逆襲

著者名	池井戸 潤	発行年	2015年
出版社名	文春文庫	ページ数	421ページ
値段	765円	ISBN	978-4167904388
コメント	「倍返しだ！」第3作はさらにグレードアップして、1500億円の企業買収ゲームへ。 IT業界の苦しい経営が焦点になって、旬な感じも◎。パンカーじゃない半沢さんの立ち位置もおもしろい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ぶらっど ☆☆☆☆	どんなに劣勢でも、最後にはそれをひっくり返してしまうおなじみの展開は今回も健在。何回読んでも、スカッとする本となっていると思う。			
	1-421	421P (300分)	第9章	2016/06/28 15:08:37
ひよこ豆 ☆☆☆☆	テレビドラマ「半沢直樹」を見てから、こちらを読みました。 ちょうどドラマからの続きで、東京セントラル証券に出走された半沢がまた”倍返し”をするストーリーです。 勧善懲悪のスカッとする話なのですが、テレビドラマがうまいことまとめ上げられているせいか少しテンポが悪く感じてしまうことがあります。ですが各所にほんの小さな伏線が張られていたりセリフの裏の意味も読み取れるのではないかと、ぜひもう一度読み返してみたい作品でした。 序盤では人名がずっと入ってこないことが多々ありますが、目次の次に人物相關図が丁寧に描かれているので親切だなと思いました。			
	全部	412P (240分)	354-370	2016/06/16 18:45:47

[TOP](#) ^



海賊とよばれた男 上・下

著者名	百田 尚樹	発行年	2014年
出版社名	講談社文庫	ページ数	910ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4062778299
コメント	もし社長面接で「最近読んでおもしろかった本は？」と聴かれたら、迷わずこれを挙げるべし。 出光興産を起こした男の一生に寄り添いつつ、戦前・戦争・戦後と、日本の石油業界が乗り越えてきた幾多の苦難を活写します。小説を楽しみつつ歴史のおさらいもできてしまうすぐれもの。今の日本をつくった男たちの熱さの一端に触れていただければ幸いです。 山室がいちばん好きなのは下巻198ページの金時計のシーン。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ハルキ ☆	従業員を一人もリストラにすることない素晴らしい経営者だと描かれているが、石油タンクの中で従業員をガスによって気絶させるまで働かせている。良い経営者とは何か、考えさせられる。			
	1-910	910P (240分)		2016/07/09 23:13:13
ニセコ ☆☆☆ ☆	戦後の混乱期に、様々な外圧に負けずに奮闘するとある会社の姿に熱いものを感じた。			
	下巻1-180	180P (100分)	1-85	2016/06/30 13:00:11
きんどる ☆☆☆ ☆	面白くて一週間で下上一気に読んでしまいました。 ページ数は多いですが、文章はそこまで重くないので比較的気軽に読める類のものだと思います。 安直に現在の価値観から照らし合わせれば、ブラック企業という烙印を押されてしまうそんな会社の四面楚歌からの大逆転を描いた作品です。 これは完全に個人的な楽しみ方だったのですが、私の地元がまさに出光商会在が立ち上げられた地だったので、もう一段階楽しめました。			
	上・下巻	910P (480分)	下3章	2016/06/23 11:59:39
ふえいず8 ☆☆☆	最初はページ数の多さに圧倒されましたが、意外とあっという間に読むことが出来ました。利益よりも国益、および社員のことを優先的に考える主人公岡鐵造の生き様に非常に惹かれました。個人的に、第三章のタンカーをイランに向かわせるところが手汗を握る展開でありおすすめです。			
	1-910	910P (540分)	下巻第三章	2016/06/22 14:53:08
disk ☆☆☆	モデルとなった出光佐三という人の偉大さに感動した。自分もこういう人になりたいと思った。しかし小説を読むのが苦手なため、上だけで力尽きてしまった。			
	家	480P (240分)	上1-480	2016/06/17 13:01:20

[TOP](#) ^



麒麟の翼

著者名	東野 圭吾	発行年	2014年
出版社名	講談社文庫	ページ数	384ページ
値段	735円	ISBN	978-4062777667
コメント	はじめ:いきなり日本橋！ 派手な舞台装置でわくわく。 なかば:地道着実。推理の積み上げ、加賀さんかっこいい。 ラスト:いくつもの家族ドラマの重奏にしみじみ。 王道ですね。さすが定評ある作家さん。ミステリー好きのみなさまに。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
Dolan ☆☆☆☆	映画がおもしろいが、やはり本も面白かった。			
	全部	384P (90分)		2016/07/18 15:05:26
ねー ☆☆☆☆	映画は以前見たことがありますが、人物の心情の描写が丁寧だと思いました。 なぜ、麒麟の像へ向かったのか、父の思いには心を打たれました。			
	1-384	384P (240分)		2016/06/28 14:05:59
うつわ ☆☆☆☆☆	立ち読みポイントのセリフを高校時の顧問に聞かせてやりたい 父の命がけの決意に感動しました			
	1-384	384P (180分)	362-365	2016/06/16 22:41:37
50 ☆☆☆☆☆	難解なトリック等は無かったが、犯人が意外だったのがよかった。 先生に対して最後に言った主人公の言葉が印象的だった。 すごく面白かった。			
	1-384	384P (240分)	339-364	2016/06/16 13:00:53

[TOPへ](#)



精霊の守り人

著者名	上橋 菜穂子	発行年	2007年
出版社名	新潮文庫	ページ数	360ページ
値段	637円	ISBN	978-4101302720
コメント	地図から始まるファンタジー、青霧山脈に鳥鳴川、その時点でもうわくわくします。冒頭いきなり紅葉の溪谷に皇子さまがひらひらと落下して行って、そこからぐいぐい加速するストーリー。この世と平行してひろがるナユグというあの世の存在とか、世界観も骨太に構築されていて。 強くてかっこいい女用心棒のバルサが大好きになってしまうと、続編へ続編へと10巻一気に読みコースに突入してしまいますのでご用心。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
nurunurubon ☆☆☆☆	王道ファンタジー。しかしチャグム皇子の成長やバルサのかっこいい戦闘シーン、タンダのバルサの帰りを待つ心情と読みどころはたくさん。個人的には設定の作りこみ(食事、娯楽)がしっかりしているのもいい。今回ほかのだれも読んでいないのがちょっと悲しかった。続編の闇の守り人、夢の守り人も面白かったのでそちらもお勧め。			
	全部	360P (360分)	バルサとタンダのやりとり	2016/08/05 16:07:51

[TOPへ](#)

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板



鹿の王 上・下

著者名	上橋 菜穂子	発行年	2014年
出版社名	角川書店	ページ数	1,119ページ
値段	3,200円	ISBN	978-4041018880
コメント	豊富な物語世界にとっぷり身を浸したいときに。 守り人シリーズ、獣の奏者と、この作者さんを追いかけてきて、生きとし生けるもの全てを、この世もあの世もまるごと包み込むような世界観に魅了されました。遺伝子という新分野にチャレンジしたぶん、やや生硬さは残るけれど、期待は裏切られません。 2015本屋大賞受賞も納得の奥深いファンタジー。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
honobono ☆☆☆☆	かなりボリュームがある事と情報量が多いのが難点ですが、どっぷりと物語の世界に浸かることができます。雄大な自然と動物、そして人間模様がうまくバランスを保って進行していくので飽きがこない点もgoodです。			
	-上150ページ	150P (300分)		2016/08/07 15:08:19
ふえいず8 ☆☆	まず、登場人物が多く名前が似通ってるので誰が誰だか分からなくなります。また、地理的名背景が物語中で説明されるのですが、地図等があるわけでないためこちらでも分からなくなります。総じて、時間をかければ頭に入ってくるのかもしれないのですが、短時間で読もうとするとよく分からなくなります。			
	1-565(上)	565P (200分)		2016/07/23 11:57:21

[TOPへ](#)



火星の人 上・下

著者名	アンディ・ウィアー	発行年	2015年
出版社名	ハヤカワ文庫SF	ページ数	1,280ページ
値段	631円	ISBN	978-4150120436
コメント	リアルで破天荒。矛盾する要素がちゃんと並存しています。 火星の過酷な環境をしっかり踏まえ、ムチャなご都合主義はいっさいなく、とてもリアルに孤独なサバイバーを追っかけながら、ストーリー展開は、「えっ？ そこへ来る？？」と、しっかりエンタテイメント。語り口もユーモラスで構成も工夫されてて◎。 シネマリストのトップに置いた映画『オデッセイ』と合わせて、お楽しみください。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
elixir ☆☆☆☆	丸1週間かけてちまちまと読みきりました。 オデッセイの原作ということで、ガッチガチのSFサバイバルかと思いきや、、、 ぜひ、自分の目で確かめてみてください。			
	1-2巻	1280P (360分)	1巻	2016/06/20 15:12:57

[TOP](#)